

北薩感染症情報

2024年第35週(8月26日～9月1日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	2	5	0.71	↗	—	4	1	0.20	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	53	37	5.29	↓	—	28	26	5.20	↓	—	
小児科定点	RS	—	—	—	1	5	1.25	↗	—	9	6	2.00	↓	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	6	4	1.00	↓	—	2	—	—	↓	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	3	1	0.25	↓	—	12	3	1.00	↓	—	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	9	14	3.50	↗	—	5	2	0.67	↓	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	4	2	0.50	↓	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	31	52	13.00	↗	◎	17	31	10.33	↗	◎	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	1	1	0.25	→	—	1	—	—	↓	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	7	7	1.75	→	—	5	7	2.33	↗	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	→	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	8	6	6.00	↓	◎	/	/	/	→	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	1	1.00	↗	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	—	—	—	—	—	/	→	—	—	—	/	→	—		
指定医療機関からの COVID-19入院報告	—	—	—	—	—	/	→	—	1	1	/	→	—		
報告数合計	—	—	—	125	135	/	↗	/	84	77	/	↓	/		

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 手足口病(警報レベル), 流行性角結膜炎(警報レベル)
- ・出水保健所管内 手足口病(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 レジオネラ症1例

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>


- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	0.29	—	0.57	0.14	0.43	—	0.29	0.71
	COVID-19	—	—	13.29	18.29	38.43	27.71	20.43	9.57	7.86	4.43	7.57	5.29
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	10.00	8.00	11.75	5.00	3.00	2.75	2.75	1.75	0.25	1.25
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	—	1.50	—	1.50	1.25	1.75	1.25	1.50	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.75	1.50	3.00	1.25	1.00	0.75	1.50	0.25	0.75	0.25
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.50	5.00	4.00	2.75	3.25	2.75	2.25	2.50	2.25	3.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	1.25	—	1.25	—	—	1.00	0.25	0.50	1.00	0.50
	手足口病	5.00/2.00	—	8.25	12.00	10.50	8.75	8.75	5.75	4.75	7.00	7.75	13.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.25	0.50	—	—	0.25	0.25	1.00	0.25	0.25	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.25	3.00	5.00	1.75	4.50	3.75	4.25	1.00	1.75	1.75
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	0.25	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	—	4.00	—	3.00	2.00	2.00	5.00	5.00	8.00	8.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—


定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.20	0.80	2.40	5.20	1.80	0.60	1.00	1.40	0.80	0.20
	COVID-19	—	—	6.20	15.20	35.00	44.20	26.80	16.60	11.20	5.60	5.60	5.20
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	6.67	4.67	3.00	8.67	8.67	10.00	7.67	7.33	3.00	2.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.67	1.33	—	1.00	—	0.67	2.00	0.33	0.67	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	15.00	5.33	9.67	5.33	2.67	2.00	1.67	1.00	4.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.67	2.00	7.67	3.00	1.33	1.67	0.67	0.33	1.67	0.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	6.00	9.67	8.33	5.67	5.67	9.00	12.00	7.00	5.67	10.33
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.33	0.33	1.00	0.67	0.33	—	0.33	—	0.33	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.33	0.67	2.67	1.67	0.67	0.33	2.00	0.67	1.67	2.33
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	1.00	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第35週においては、川薩地域では流行性角結膜炎と手足口病、出水地域では手足口病の警報が続いています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等はありませんでした。手足口病はどちらの地域においても報告数が増加しています。手足口病にはアルコールの効果は期待できません。改めて、手足口病の感染対策を確認しましょう。

9月24日～9月30日は『結核・呼吸器感染症予防週間』です。結核についてもアルコール消毒は効きませんが、有効な治療薬が開発され、「薬で治る病気」になりました。早期発見・早期治療のためにも定期受診をしましょう。また、2週間以上咳が続く場合は結核を疑うサインです。あまり気にならない場合でも、大切な御家族を守るためにも医療機関を受診しましょう。



県から手足口病の 注意喚起がありました

- 
- ・飛沫感染
 - ・接触感染
 - ・糞口感染

手足口病とは...?

コクサッキーウイルス(特にA6, A16, A10)やエンテロウイルス(特に71)などを原因とし、口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が出る感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられる場合があります。基本的には軽い症状の病気であり、ほとんどの発症者は3~7日のうちに治ります。

成人を含めた小学生以上の大半は、すでにウイルスの感染を受けている場合が多いため、発症はあまり多くありませんが、典型的な症状が現れず、重症化する場合がありますので、注意が必要です。

原因病原体:コクサッキーウイルス, エンテロウイルスなど

症状:口の中や手のひら, 足底や足の甲に水疱を伴う複数の発疹の出現, 38°C以下の発熱(およそ1/3の確率)

潜伏期:3~5日

特徴:2歳以下が半数を占めるが, 手足口病の典型的な症状が現れず, 重症化する場合もある



保育施設や幼稚園などでは特に
注意をしましょう!

●以下の症状がみられる場合は医療機関への受診を検討しましょう。

- ・高熱がでる
- ・発熱が2日以上続く
- ・呼びかけに答えない
- ・嘔吐する
- ・水分が取れずにおしっこがでない
- ・ぐったりとしている
- ・頭を痛がる
- ・視点が合わない
- ・呼吸が速くて息苦しそう



アルコール消毒の効果は低い...

感染症対策

手や足、口の中などに
発しんはありませんか？

手足口病

手足や口の中などに水泡を伴う発疹の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



発熱してから数日後に口や手足に水泡(発しん)がみられます。

流行時期



を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って染すること)が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感

感染経路

治療方法

手

手足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- 高熱が2日以上続く
- 嘔吐する
- 喉を痛がる
- 視線が合わない
- 呼びかけに答えない
- 呼吸が速くて息苦しそう
- 水分が取れずにおしっこができない
- ぐったりとしている

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 (<http://kodomo-rescue.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「11900 (こども緊急電話相談)」にご相談ください。

- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。また、感染しても発熱しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

手足口病について ▶





オロプーシェ熱をご存じですか？



・媒介感染

オロプーシェ熱とは...？

オロプーシェ熱とは、オロプーシェウイルスによる急性熱性疾患です。ヌカカやネッタイシマカという蚊に刺されることでヒトに感染します。症状はデング熱に似ており、中南米やカリブ海地域で感染が確認されています。発生地域の拡大やヨーロッパやにおける輸入症例が報告されていることから、今後、日本でも発生する可能性が考えられます。

日本にウイルスを持ち帰ってしまわないよう、海外旅行では虫除け対策を行い、帰国後の体調不良は速やかに検疫所や医療機関に相談をしましょう。

原因病原体：オロプーシェウイルス

症状：発熱，頭痛，倦怠感，関節痛，筋肉痛

潜伏期：3～12日の範囲（4～8日程度）

ヒトーヒト感染：現時点ではなし（証拠なし）

特徴：森林，都市ともに感染機会あり。6割の患者が，寛解後2週間～1ヶ月以内に再度同様の症状が現れる。



・N,N-diethyl-3-methylbenzamide (DEET: デイート)
・イカリジン(ピカリジン)
を含む忌避剤を使用しましょう。



吸血昆虫との接触を防ぐため、
肌の露出を避けましょう。



蚊の媒介による感染症は他にも...

- ・デング熱
- ・チクングニア熱
- ・ジカウイルス感染症
- ・ウエストナイル熱
- ・黄熱
- ・マラリア
- ・日本脳炎
- ・野兔病
- ・リフトバレー熱
- ・東部ウマ脳炎

etc.





流行性角結膜炎の警報が
発令されました！

・接触感染

流行性角結膜炎とは...？

大人も注意！

アデノウイルスによっておこる、ウイルス性結膜炎です。感染力が非常に高いため、ほとんど両目共に感染します。ウイルスによって汚染されたティッシュやタオル、洗面器等に触れるなどして感染するため流行時期は特に、タオルなどを共有しないように心がけましょう。症状が現れた場合は、医療機関に行く前に電話で相談し、指示に従って受診をしましょう。

原因病原体:アデノウイルス(特にD種の8, 19, 37, 53, 54, 56, B種の3, 7, 11型, E種の4型)

症状:白目の充血や浮腫, まぶたの浮腫, 流涙, めやに, 耳前リンパ節の腫脹と圧痛など

潜伏期:8~14日

流行時期:8月を中心とした夏

特徴:1~5歳を中心とする小児に多いが, 成人も含み, 幅広い年齢層にみられる。また, 職場や病院, 家庭での流行発生も多い。

感染しないようにするには...？

- ①ペーパータオルや個人のタオルを使う
- ②共有箇所のこまめな消毒(次亜塩素酸Na)と手洗い(石けんと流水)を行う



こんな症状があるときは医療機関に相談しましょう。

- ・まぶたが腫れる ・涙や目やにがでる
- ・白目がぶよぶよになる ・眼が赤くなる(充血)
- ・眼に異物感がある ・眼が痛い ・耳の前あたりが痛い



アルコール消毒の効果は低い...

流行性角結膜炎の予防について

1 流行性角結膜炎とは

流行性角結膜炎は、アデノウイルスによって起こる疾患で、主として手を介した接触により感染します。季節的には、8月を中心として夏に多く、年齢では1～5歳を中心とする小児に多いが、成人も含み幅広い年齢層にみられます。

2 症 状

潜伏期間は8～14日で、急に発症し、眼瞼の浮腫、流涙を伴います。

感染力が強いため両側が感染しやすいが、初発眼の方が症状が強く、耳前リンパ節の腫脹を伴います。

新生児や乳幼児では、偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすので注意する必要があります。

3 感染経路

通常接触感染、流行性角結膜炎患者との接触により感染しますが、病院の医師、看護師、さらに職場や家庭などで、ウイルスにより汚染された、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などに触れるなどして感染します。

4 治療・予防方法

対症療法的に抗炎症剤の点眼を行い、さらに角膜に炎症がおよび混濁がみられるときは、ステロイド剤を点眼します。

予防としては感染者の分泌物の取扱いと処分に注意し、手洗い、消毒をきちんと行うことが必要です。

5 感染症法における取り扱いについて

流行性角結膜炎は、5類感染症定点把握疾患に定められています。

6 学校保健法における取り扱いについて

流行性角結膜炎は、学校における予防すべき感染症第3種対象疾病に規定され、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで出席停止とされています。



9/24～9/30は
結核・呼吸器感染症予防週間です！

主に
・空気感染
・飛沫感染
・接触感染

結核・呼吸器感染症予防週間とは...？

例年、9月24日～9月30日までを『結核予防週間』と定め、結核に対する意識の向上を図っておりましたが、今年度から、『結核・呼吸器感染症週間』として実施することで、感染症対策に取り組むこととなりました。例年、秋・冬に呼吸器感染症が流行しますので、その前にマスク着用を含む咳エチケットや手洗いうがい、手指消毒、換気など、基本的な感染対策を心がけましょう。また、これを機に、結核や呼吸器感染症について調べてみましょう。

結核

原因病原体：結核菌

症状：咳，喀痰，微熱など

潜伏期：数週間～一生涯

特徴：ゆっくりと進行し，初期症状が軽いため，自分では気づきにくい。感染してもすぐには発症せず，加齢などにより免疫力が低下したときに発病する場合もある。また，一生発病しない場合もある。

呼吸器感染症

呼吸器感染症にはどんな疾患があるの...？

- ・結核
- ・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)
- ・A群溶血性レンサ球菌感染症
- ・RSウイルス感染症
- ・SARS
- ・咽頭結膜熱
- ・インフルエンザ
- ・インフルエンザ菌感染症
- ・オウム病
- ・クラミジア肺炎
- ・コクシジオイデス症
- ・コリネバクテリウム・ウルセランス感染症
- ・ジフテリア
- ・炭疽
- ・肺炎球菌感染症
- ・ハンタウイルス肺症候群
- ・ヒストプラズマ症
- ・百日咳
- ・風疹
- ・ペスト
- ・マイコプラズマ肺炎
- ・麻疹
- ・レジオネラ症
- ・レストスピラ症
- etc.

身近な感染症から聞いたこともない
感染症まで様々だね...
他にも自身で調べてみよう！！



結核は まだまだ身近な 病気です

1年間で(2023年)

新登録
患者数

10,096人

死亡者数
(概数)

1,587人

インフルエンザ

新型コロナ
ウイルス感染症

細菌性肺炎

など

予防しよう
身近な呼吸器感染症

早期発見

結核



せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

予防

呼吸器感染症



換気、手洗い・手指消毒などの基本的な感染対策が有効です。また、感染予防としてマスクの着用が効果的です。

